

令和7年度（厚木王子高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育の専門家としての自覚、意識を高め、倫理意識の保持・向上を図り、不祥事を未然に防止する。	○「教職員の倫理に関する指針」・「職員行動指針」及び「教員のコンプライアンスマニュアル」を配付し、教育の専門家としての自覚、意識を高めた。 ○不祥事防止研修会での意識啓発によって、公務内外問わず常に公務員としての自覚と倫理意識を持って行動し、法令順守を徹底した。
職場のハラスメントの防止	職員同士が互いにしっかりとコミュニケーションをとり、良好な職場環境をつくることにより、職場におけるハラスメント行為を防止する。	○「職場におけるハラスメント防止」に関する研修を実施し、ハラスメントについての理解を深めるとともに、職員同士の良好なコミュニケーションを維持した。 ○教職員が互いの人権を意識し他者に配慮した適切な言動を心掛け、それぞれの能力を十分に発揮いきいきと働けるハラスメントのない職場づくりを推進した。
生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ、セクハラ行為の発生を未然に防止する。	○不祥事防止研修を実施し、セクシャル・ハラスメントに関する理解を深めるとともに、生徒に対する不適切な関係の防止を徹底した。 ○生徒との相談、指導において、複数対応や他教職員との情報共有を行うなど、組織的な対応を徹底し、不祥事を防止した。
体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰や不適切指導を未然に防止する。	○不祥事防止研修を実施し、生徒の人権を尊重した指導及び教員の指導力の向上のため、教職員の人権感覚を高めた。 ○相手の立場に立った言動を心がけ、指導する際は、必ず複数態勢で臨み、生徒理解に基づく体罰によらない指導を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定めたマニュアルに基づき業務を行うとともに、確固とした点検体制を維持し、事故・不祥事を防止する。	○不祥事防止研修を実施し、マニュアル等を厳守した適切な事務処理の徹底を図るとともに、職員同士の相互チェック機能の強化に組織的に取り組んだ。 ○調査書等の進路関係書類の作成を計画的に行い、速やかに発行する体制をつくるとともに、2人以上複数回の点検により事故を防止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の徹底	個人情報の適切な管理に努め、個人情報の流出を防止する。	○不祥事防止研修を実施し、教務手帳の持ち出し禁止、個人情報の持ち出しは原則禁止とし、個人情報を持ち出す場合の許可手続きを徹底した。またパスワードの設定等について周知し、徹底を図った。 ○学校では日常的に様々な形態で個人情報を扱っていることを改めて教職員に意識させ、ルールを確認し、個人情報の紛失・誤廃棄、誤配付・誤送信などの事案を未然に防止した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守に努めるとともに、安全運転を行い、交通違反や交通事故を防止する。とりわけ、飲酒運転や酒気帯び運転は絶対にしない。	○不祥事防止研修を実施し、酒酔い・酒気帯び運転は絶対にしないこと、酒酔い運転の車に乗車しないことを確認し、徹底した。 ○運転に際しては時間と気持ちに余裕を持つことを周知徹底した。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

再編統合により発足した厚木王子高等学校として2年目を迎えた。昨年度の成果と課題を踏まえて、改めて不祥事防止のための校内環境の整備を推進した。不祥事防止会議・不祥事防止研修等では、毎月の職員啓発・点検資料について、自己の振り返りとともに法令等の解説の確認により理解を深め、意識の向上を図ることができた。不祥事防止研修で各自の意見や気づき、ヒヤリハット事例を集約して共有することで、研修のテーマを自分事として捉え主体的に不祥事防止に取り組む職場の体制を維持した。定期的に行う不祥事防止研修とともに、時宜を得た注意喚起により不祥事防止を達成することができた。不祥事防止研修については、研修の内容・方法をブラッシュアップする。

また管理職による日常の声掛けや相談しやすい環境を作ることで、職員とのコミュニケーションが密になり、心身の健康の維持につながった。風通しのより職場環境の構築により、同僚性を醸成し、事故・不祥事を防ぐことができる職場を目指す。